

日	月	火	水	木	金	土
						1 2 3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

ニュースはウェブ東奥



〒030-0180 青森市第二問題町3丁目1番89号 ©東奥日報社 2018



# 「元気？」お年寄りにひと声

## 八戸 南山デイリーサービス

### 宅配時の取り組み評価

### 米非営利団体雑誌で紹介

乳製品などの宅配事業を行う「南山デイリーサービス」(本社八戸市、南山泰政社長)は1人暮らしの高齢者を対象に、宅配スタッフが訪問時に声をかけを行う「お元気確認サービス」に取り組んでいる。このサービスが、米国最大の非営利団体「AARP(全米退職者協会)」が発行している雑誌「THE JOURNAL」で紹介された。南山社長は「取材の話を聞いたときは驚いたが、大変光栄なこと。これからも継続したい」と喜びを語った。

(工藤俊介)

同社は県南地方や岩手・秋田の両県で宅配事業を展開し、各地の地域包括支援センターと連携して同サービスを無料で提供。今回は秋田市が高齢者に優しい都

市の実現を目指し参加している「世界保健機関(WHO)エイジフレンドリーシテイグロバルネットワーク」のパートナー事業者として取材された。

南山社長によると、サービスの契機となったのは顧客満足度の向上を目指して実施したアンケート。高齢者を中心に「1人暮らしで不安も多い」「世間話をする相手がほしい」といった回答が多く寄せられた。

2011年9月からスタートしたサービスは、利用者の様子や会話の内容を日報に記録し、異変がみられないかどうかを確認している。16年9月には、六戸町の高齢女性の異変に気づいたスタッフが119番通報し、初期の脳梗塞だったという事例もあるという。

雑誌には、同社のスタッフが宅配する際に利用者の女性と楽しげに言葉を交わ



自社の取り組みが紹介されている「THE JOURNAL」を手にする南山社長

す場面が掲載されている。南山社長は「自分たちの取り組みが世界に認められ、スタッフも仕事を誇りに思っている。お客さまの健康と笑顔のため、今後もお元気確認サービスを続けていきたい」と笑顔を見せた。